

知事記者会見の概要

日 時：令和2年2月28日(金) 16:00～16:17

場 所：記者会見室

出席者：知事、教育長、総務部長、秘書課長、広報広聴推進課長

出席記者：15名、テレビカメラ5台

1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事及び教育長から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事等が答えて閉会した。

2 質疑応答の項目

発表事項

- (1) 学校における臨時休業に係る対応について

フリー質問

- (1) 発表事項に関連して

<幹事社：朝日・荘内・NHK>

☆報告事項

知事

それでは、私から新型コロナウイルス感染症対策のための学校における一斉臨時休業について申し上げます。

昨夜のニュースで私も知りましたが、それ以来ですね、県民の皆様、そしてまた教育界、また職場、働いている職場の皆さん、多くの方々の中に大きな混迷が広がったのではないかとこのように推測をしているところでございます。

それで、昨日の夜の中に、関係部長たちともちょっと話をしたり、また、今朝登庁しまして、朝のうちにもちょっと打合せもしました。そのあとの県議会の本会議がございましたので、それが終了してから本格的な会議を行ったところであります。それを踏まえての記者会見となりますので、まずもって時間がこのように遅くなってしまったことをお詫び申し上げたいと思います。

昨日、内閣総理大臣より、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、3月2日から全国の小中学校、高校、特別支援学校について、春休みまで臨時休業にするようにと要請がなされました。

本県ではまだ新型コロナウイルス感染症が発生したという確認はございませんけれども、総理大臣自らがこのような要請をされたということでもありますので、本県としましても、全国的な非常事態と捉え、適切な対応をしていかなければならないと考えております。

山形県では、この要請を受けまして、教育委員会から県立学校に対して、3月2日から春休みまでを臨時休業とすることを指示したところであります。市町村立の小中学校、高等学校につきましても、市町村教育委員会へ県立学校の対応と同様の対応を求める要請を行っております。感染拡大防止のためには、地域が一体となった対応をすることが重要でありますので、県民の皆様にはぜひ御協力をいただきたいと思います。学校に関しての具体的な内容について、教育長から説明してもらいます。

教育長

教育長の菅間でございます。学校に関することにつきまして、私のほうから御報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、北海道で昨日から全ての公立小中学校が休校となるなど、全国の各地域において、学校における児童生徒の感染が相次いでおります。本県の学校では、幸いにも未だ感染例はございませんが、いつ発生してもおかしくない状況にあると認識しております。

昨日、内閣総理大臣から、何よりも、子どもたちの健康・安全を第一に考え、多くの子どもたちや教職員が、日常的に長時間集まることによる感染リスクにあらかじめ備える観点から、全国全ての小中学校、高等学校、特別支援学校について、来週3月2日から春休みまで、臨時休業を行うよう要請があったところでございます。

県教育委員会といたしましても、この要請を重く受け止め、昨日から対応を検討し、本日、各県立学校、市町村教育委員会に通知を行ったところです。

お手元の資料を御覧ください。3点申し上げますが、要請を受けまして、県立学校に対して、3月2日から春休みまで臨時休業とすることを指示したところです。

具体的な内容について、1番、臨時休業については、休業中は、生徒は登校しないこと。1日だけという例外は作ってございます。講習や部活動等も行わず、家庭においては外出を極力控えるよう指導することとしております。

2番目、卒業式についてでございますが、以前、2月25日に時間の短縮や参加者の限定等を指示しておりましたが、昨日、必要最小限の参加者で、という要請をさらに受けまして、さらに時間設定を見直し、最短の時間で終了できるようにすること、参加者は卒業生と教職員のみ限定し、保護者、来賓については参加を遠慮願うこと、在校生の参加は必要最小限とすること。保護者も、保護者の代表の方1名ということは、参加を認める通知をしております。

3番の入学試験について、高校入学試験についてですが、予定通り3月10日火曜日に実施いたしますが、面接については実施しないということを通知、指示したところでございます。

市町村立の小学校、中学校、高等学校につきましても、市町村教育委員会へ県立学校の対応と同様の対応を求める要請を行っております。知事からもただいまございましたが、感染拡大防止のためには、地域が一体となった対応が重要でございますので、私からも御協力を重ねてお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

知事

では、ふたたび申し上げます。

休校中の低学年の児童への対応など、保護者の方々を中心に、県民の皆様には不安が広がっていることと思います。本県においては、共働き率も大変高いです。子育て中の皆様には大変御負担をおかけすることになります。何よりも子どもたちの健康・安全を第一に考えての判断でありますので、何卒御理解くださるようお願いいたします。

それからですね、やはり働いている方々もたくさんおられますので、企業等の皆様について申し上げます。企業等の皆様には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の趣旨を御理解いただき、子どもを持つ従業員の方々の休暇取得や在宅勤務、短時間勤務の活用、あるいはまた時差出勤とかテレワークもできるかと思っておりますけれども、在宅勤務がテレワークを含んでいるかと思っております。時差出勤、それから職場へのお子さんの帯同、職場にお子さんを連れて来てもいいというようなことですね、そういったことについて御配慮くださるようお願いいたします。

社会全体で子育てを支援するということをですね、今こそ実践していただきますように私からもお願いいたします。ぜひ山形県は子育て支援をですね、みんなで支援、応援する

んだというようなことを、こういう時こそやはり実行していただければと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

今後とも市町村とも連携し、県民の皆様に対して必要な情報の提供を適切に行いますとともに、企業などへの協力要請を行うなど、このたびの緊急対応を着実に実施し、県民の皆様への不安解消及び県内での感染防止にしっかりと取り組んでまいり所存でございますので、御理解、御協力を願ひいたします。以上でございます。

☆フリー質問

記者

NHKです。よろしくお願ひします。知事もさっき、県民の皆さんの間に困惑が広がっているかもしれないということだったのですけれども、まず昨日、その国の要請をお聞きになった時、まだ県内では感染者がいないということで、知事としてはこの要請をどのように最初受け止められましたでしょうか。

知事

はい。テレビのニュースでそれを知りまして、大変、そうですね、急な展開になるというふうには思いました。ですが、日本の中で、わが国の中でですね、これ以上新型コロナウイルス感染症を拡大させてはならないという強い意思、覚悟というものを感じたところでもあります。

ただ、あまりに急でしたので、県内でも大変混乱が広がるかなというようなことも本当に、あと、卒業式と入試もありますので、子どもたちの間にも様々な動揺が広がるだろうということも思いましたので、関係部長、部局長たちと一緒にいろんな課題について打合せをして、決めたと言いますかね、考えたことを県民の皆様へ、今記者会見という形でお願ひをしているところでございます。

記者

関連してなのですけれども、今回、全国一律での要請ということで、感染がない県についても同じような要請になったということについては、評価としては、知事はどう受け止めていらっしゃるでしょうか。

知事

そうですね、感染が確認されていないということだと思っておりますので、いつ発生してもおかしくない状況であろうと思っております。

ですから、相談者、必要があるという方については検体の検査もしてございますので、今のところ皆さん陰性でありますけれども、感染していないかどうかというのはちょっとわからない、感染が確認されていない、そういう状況だというふうに捉えております。

記者

ですと、今のところ感染者が見つからない中で休校を決められた理由というのも、そういうことに。

知事

そうですね。本当に子どもたち、国民みんながですね、これ以上拡大しないように、感染症が拡大しないようにということを、やはり安全を第一に考えられたのだろうというふうに受け止めました。ですから、山形県は感染は確認されておられませんけれども、やはり全国的な非常事態と捉えて、しっかりとできることをやっていかなければならないというふうに思っているところです。

記者

荘内日報の松田です。今回は県立学校、市町村の小中学校、高校に対しての要請ですが、今後としまして、例えば学童保育や、もっと若い世代の保育園などにはどんなふうに対応していくのか、今お考えがあるかお聞かせください。

知事

そうですね、はい。今のところですね、保育所や幼稚園、認定こども園、それから放課後児童クラブ、学童クラブも一緒だと思いますけれども、そこに関しては厚生労働省からの要請としまして、2月27日事務連絡があったということでもあります。

感染の予防に留意した上で、原則として開所ということでもありますので、今、そういう状況でございます。感染予防にしっかりと留意した上で開所ということでもあります。

あとは、今後については、やはり動向をしっかりと、状況をですね、しっかりと注視しながら対応していきたいというふうに思います。

記者

イベントや部活動を中止されている中で、卒業式だけは決行というふうにされたのは、思いですとか、お考えとかもしあれば、お願いします。

知事

そうですね、これは文科省からの通知の。では、その件については文科省からの通知がありますので、ちょっと教育長に変わります。

教育長

文科省からの通知の中でも、すべてを自粛するものではないという例の中に、卒業式が

挙げられておりました、ただ、その中で、必要最小限で実施することというような、十分な配慮を行った上でということがございましたので、卒業生の心情を考慮して開催というふうに判断いたしました。

知事

はい。私としましては、教育委員会のそういった判断をですね、尊重したいと思います。

やはり、一生に一度の卒業式ということでありまして、できる限り短縮したり、簡素化したりして、そのようにして挙行してくださるということでありまして、一緒になって記者会見で県民の皆さんにそのことをお伝えいたしました。

記者

毎日新聞の的野です。各市町村によっては卒業式に保護者を参加、1人以上参加させるという市町村もあるのですけれども、通知の強制力としては、基本、各学校に委ねるというような対応の通知ということではよろしかったですか。

知事

はい、そのように伺っております。

記者

はい、わかりました。

(配布資料) II番の市町村教育委員会への要請というのは、上の県立学校への指示の3番以外の1、2を同様にお伝えしているということですかね。

教育長

そのように指示しております。臨時休業、卒業式ということです。

記者

はい、わかりました。卒業式についても、この保護者は代表1人と、来賓については参加を遠慮願うということもお伝えしているという。

教育長

県立学校にこういう指示をいたしましたので、同様の対応をお願いしますという要請を行っております。

記者

はい、わかりました。ありがとうございます。